

東日本 大震災から 10年

平

成23年3月11日、マグニチュード9.0の超巨大地震と大津波が東北地方を襲いました。東日本大震災。多くの人々の日常を奪ったこの未曾有の災害から間もなく10年が経過しようとしています。災害関連死を含む死者は2万人近くを数え、今なお、2.500人以上の方々の行方が分かっていません。

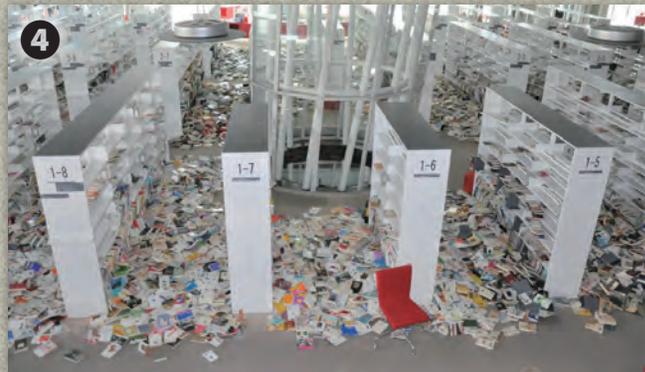
体験したことのない長い揺れ。テレビで流れる津波にまちが飲み込まれる映像に感じた恐怖や衝撃は、被災地以外に住む人たちにとって、時の積み重ねとともに薄れつつあります。

今後30年以内に巨大地震に襲われる確率が80%程度とされる根室市。今月はこの災害を振り返り、その教訓を改めて思い出し、これからの災禍に備えたいと思います。

問 総務課総務・防災担当
Tel (23) 6111番
内線 2222・2223

○ 震災の記録

2



① (宮城県多賀城市) 津波で浸水した市街地。奥の歩道橋に多くの方が避難している。 ② (岩手県宮古市) ③ (宮城県仙台市) ごう音とともに市街地に流れ込む津波。 ④ (宮城県仙台市) 地震によりほぼ全ての書籍が本棚から落下。 ⑤ (宮城県気仙沼市) 発災3日後、市内の道路状況。 ⑥ (岩手県大船渡市) 発災から4日後、多くの人が身を寄せる避難所。 ⑦ (岩手県山田町) 地震により火災が発生。 ⑧ (岩手県釜石市) 津波により岸に打ち上げられた船。 ⑨ (福島県南相馬市) 小学校の黒板下部分に土砂に浸かった跡が見られる。平成23年4月撮影。黒板の日付は3月11日のまま。

東日本大震災の概要 (令和2年3月1日現在)

発生日時 2011(平成23)年3月11日 14時46分頃
震源 三陸沖 (深さ24km)
震度 震度7 宮城県北部
 震度6強 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、栃木県北部・南部
 震度6弱 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、埼玉県南部、千葉県北西部
死者 19,729名 (震災関連死を含む)
行方不明者 2,559名
住家被害 (全壊) 121,996棟 (半壊) 282,941棟 (一部破損) 748,461棟

